

統計の日

10月18日

統計調査

出生の年月

あなたの、出生の年月について元号又は西暦を選択したうえで、年及び月を選択してください。

☐ 明治 ☐ 大正 ☐ 昭和
☒ 平成 ☐ 令和 ☐ 西暦

年 月 歳

次へ進む

今をデータに、
未来をカタチに。

統計調査へのご回答をお願いいたします。
政府では、オンライン調査を推進しています。

総務省・各府省統計主管部局

知ってくださいこのマーク
きっと役立つ統計調査



政府統計

「統計の日」は、国民の統計に対する関心と理解が深まり、国や地方自治体などが実施する統計調査へのより一層の協力が得られることを目的として、昭和48年に定められました。

農林水産統計ができるまで

農林水産統計は「①企画、②設計、③調査実施・取りまとめ、④公表」の工程に沿って実施し、⑤利活用されています。

調査の目的に応じて効率性を考えながら、調査対象、調査事項（調査票）、調査時期、標本数、調査方法など設計を行います。

- ✓ 調査対象
- ✓ 調査票
- ✓ 時期
- ✓ 標本数
- ✓ 調査方法
- ✓ 点検・評価
- ✓ 予算

政策などのニーズを把握し、調査を企画します。



企 画

設 計

調査票に基づき、面接、郵送などにより調査を行います。
調査票を回収し、集計を行い、総数や平均値などの調査結果を取りまとめます。

調査実施
取りまとめ

- ✓ 面接、郵送等
- ✓ 審査・集計



農政の推進、学術研究・教育などに利活用されます。

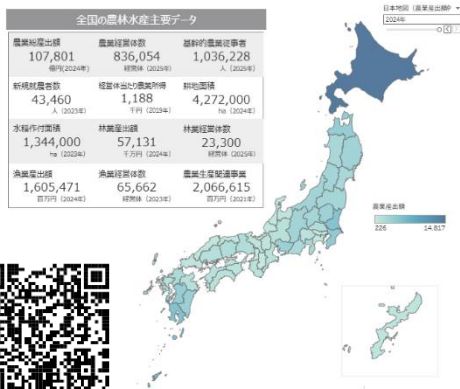
利 活 用

公 表

取りまとめた調査結果を、ホームページなどで公表します。新聞などメディアにも掲載されます。

- ✓ 広報、普及
- ✓ 速報と確報

【MAFF統計ダッシュボード】
主要な農林水産統計データについて、可視化して表示・比較できます。



以下の二次元コード（HPヘリンク）から農林水産統計の公表資料をご覧ください。

農林水産省



中国四国農政局

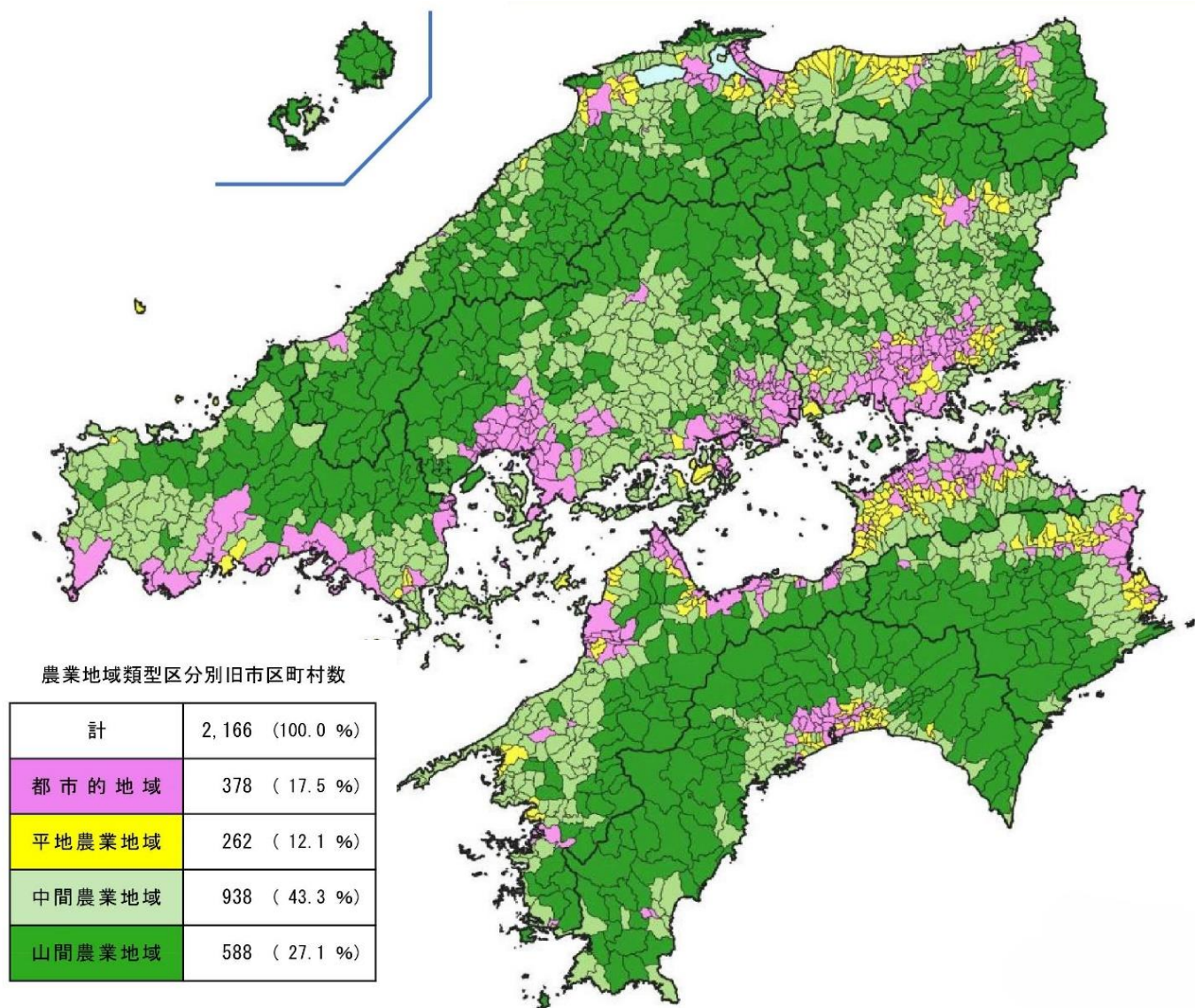


政府統計の総合窓口

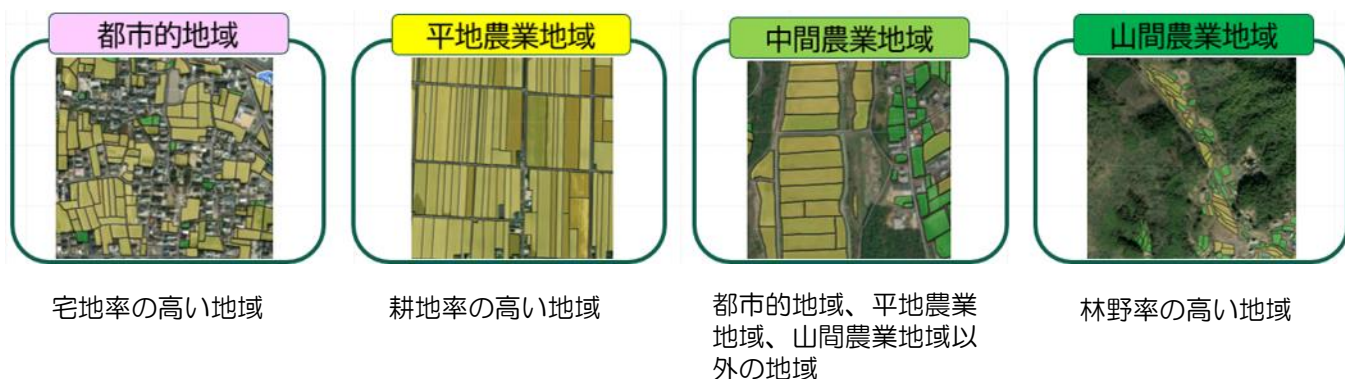


農業地域類型区分

中国四国地域は、中間農業地域と山間農業地域が多く、中山間農業地域が全体の約7割を占めています。



「農業地域類型区分」とは、農業が行われる地域をその土地利用上の特性により区分したので、「都市的地域」「平地農業地域」「中間農業地域」「山間農業地域」に分類されます。



中国四国地域の個人経営体数

中国四国地域において、個人（世帯）で農業を営む経営体数を20年前と比較すると約60%減少しています。全国においても約60%減少しています。

2005年

2025年



個人で農業を営む経営体(全国、中国四国)

区 分	2005年 (平成17年) 千経営体	2025年 (令和7年) 千経営体	増減率
全 国	1,981	796	59.8%減
中 国 四 国	299	119	60.2%減
うち中国	183	70	62.1%減
うち四国	116	50	57.3%減

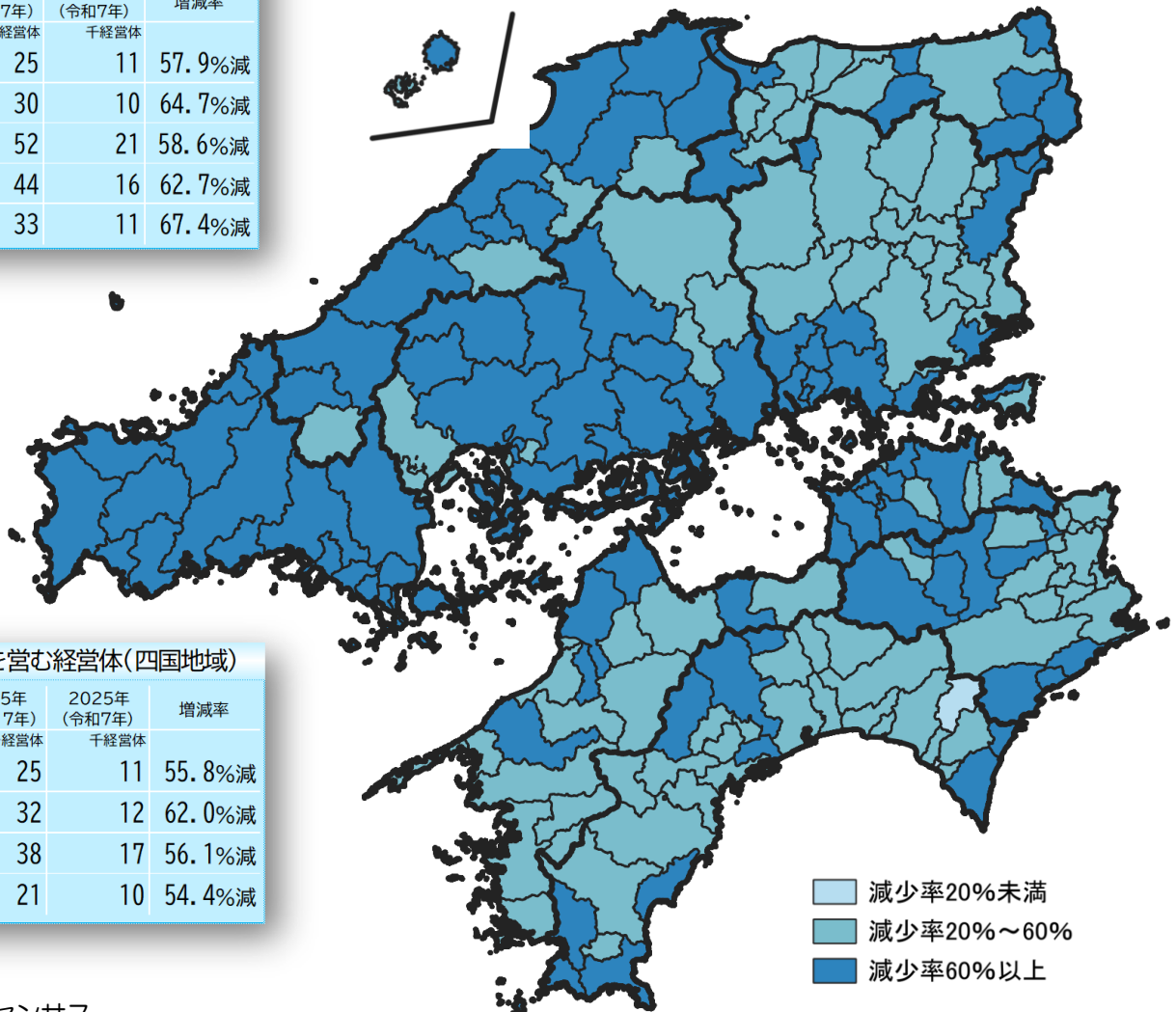
県別、市町村別の増減率

個人で農業を営む経営体(中国地域)

県	2005年 (平成17年) 千経営体	2025年 (令和7年) 千経営体	増減率
鳥 取 県	25	11	57.9%減
島 根 県	30	10	64.7%減
岡 山 県	52	21	58.6%減
広 島 県	44	16	62.7%減
山 口 県	33	11	67.4%減

個人で農業を営む経営体(四国地域)

県	2005年 (平成17年) 千経営体	2025年 (令和7年) 千経営体	増減率
徳 島 県	25	11	55.8%減
香 川 県	32	12	62.0%減
愛 媛 県	38	17	56.1%減
高 知 県	21	10	54.4%減



資料：農林業センサス

注：2005年農林業センサスの農業経営体（家族経営）と、2025年農林業センサスの農業経営体（個人経営体）を比較した資料である。

中国四国地域の団体経営体数

中国四国地域において、会社や農事組合法人等の団体で農業を営む経営体を20年前と比較すると約52%増加しています。全国においては約43%増加しています。



団体で農業を営む経営体(全国、中国四国)

区分	2005年 (平成17年) 経営体	2025年 (令和7年) 経営体	増減率
全 国	28,097	40,226	43.2%増
中 国 四 国	3,172	4,816	51.8%増
うち中国	2,191	3,153	43.9%増
うち四国	981	1,663	69.5%増

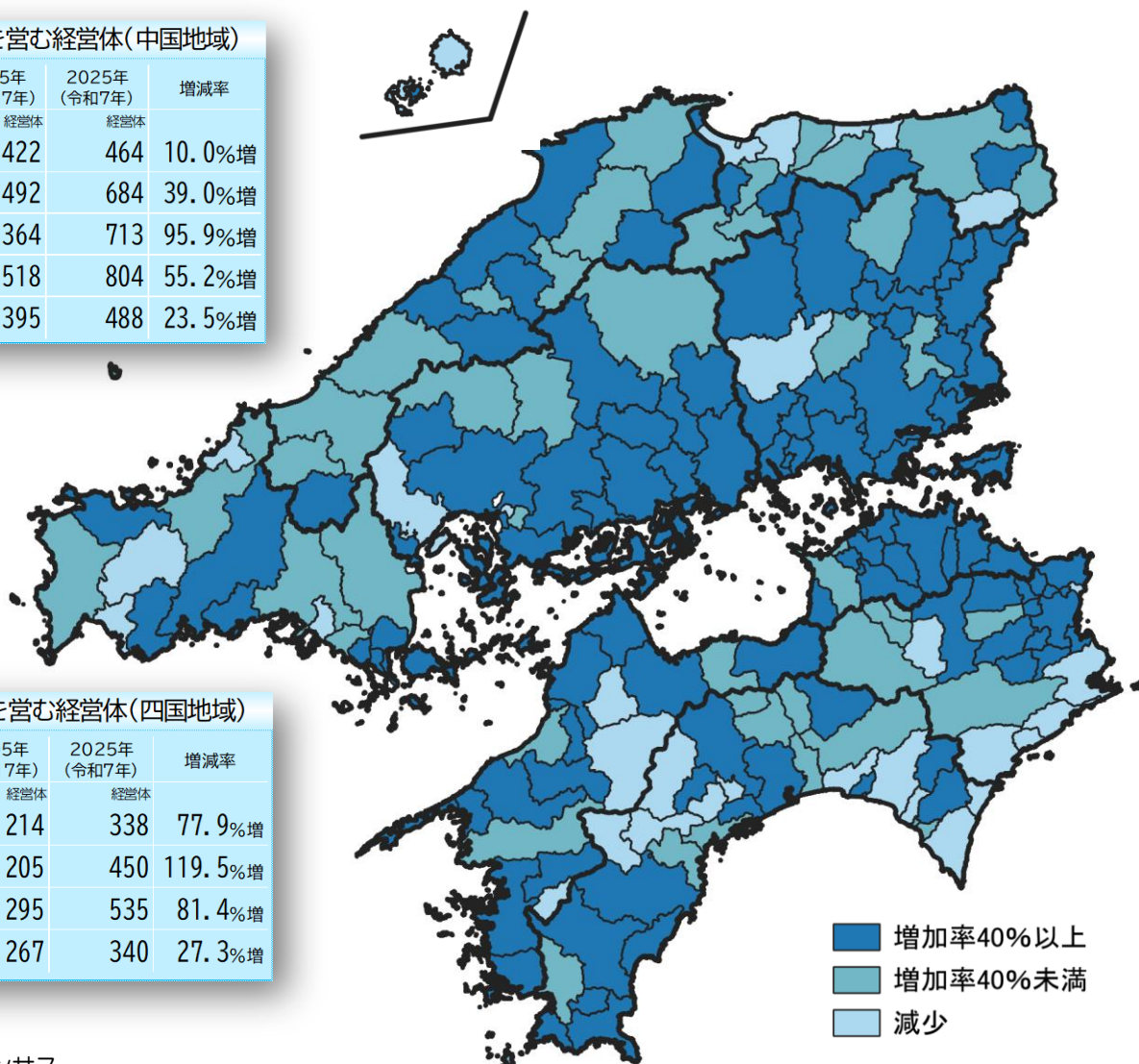
県別、市町村別の増減率

団体で農業を営む経営体(中国地域)

県	2005年 (平成17年) 経営体	2025年 (令和7年) 経営体	増減率
鳥 取 県	422	464	10.0%増
島 根 県	492	684	39.0%増
岡 山 県	364	713	95.9%増
広 島 県	518	804	55.2%増
山 口 県	395	488	23.5%増

団体で農業を営む経営体(四国地域)

県	2005年 (平成17年) 経営体	2025年 (令和7年) 経営体	増減率
徳 島 県	214	338	77.9%増
香 川 県	205	450	119.5%増
愛 媛 県	295	535	81.4%増
高 知 県	267	340	27.3%増



資料：農林業センサス

注：2005年農林業センサスの農業経営体（家族経営以外の経営体）と、2025年農林業センサスの農業経営体（団体経営体）を比較した資料である。

中国四国地域の基幹的農業従事者数

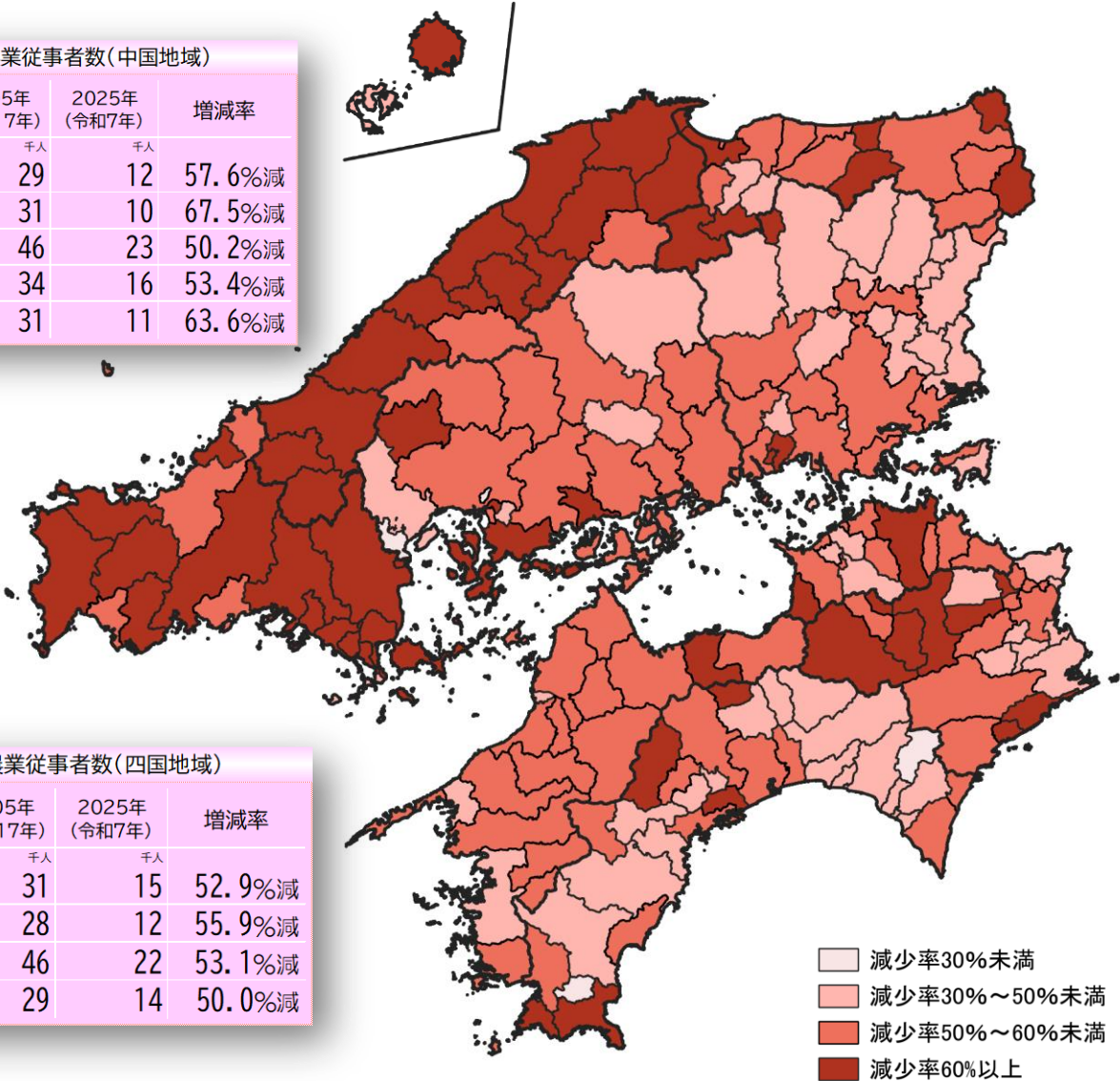
中国四国地域において、基幹的農業従事者数（農業を主な仕事としている世帯員）を20年前と比較すると約56%減少しています。全国においては約54%減少しています。



基幹的農業従事者数(全国、中国四国)			
区 分	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減率
全 国	2,241 千人	1,036 千人	53.8%減
中 国 四 国	305	135	55.6%減
うち中国	171	72	57.6%減
うち四国	134	63	53.0%減

県別、市町村別の増減率

基幹的農業従事者数(中国地域)			
県	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減率
鳥 取 県	29 千人	12 千人	57.6%減
島 根 県	31	10	67.5%減
岡 山 県	46	23	50.2%減
広 島 県	34	16	53.4%減
山 口 県	31	11	63.6%減



基幹的農業従事者数(四国地域)			
県	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減率
徳 島 県	31 千人	15 千人	52.9%減
香 川 県	28	12	55.9%減
愛 媛 県	46	22	53.1%減
高 知 県	29	14	50.0%減

資料：農林業センサス
注：2005年農林業センサスの販売農家の基幹的農業従事者と、2025年農林業センサスの個人経営体の基幹的農業従事者を比較した資料である。

中国四国地域の 基幹的農業従事者の平均年齢

中国四国地域の基幹的農業従事者の平均年齢をみると、令和7年2月1日現在で70.3歳となっています。全国における平均年齢67.7歳となっています。



基幹的農業従事者の平均年齢
(全国、中国四国)

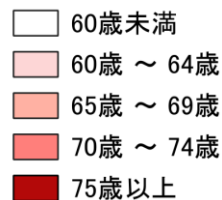
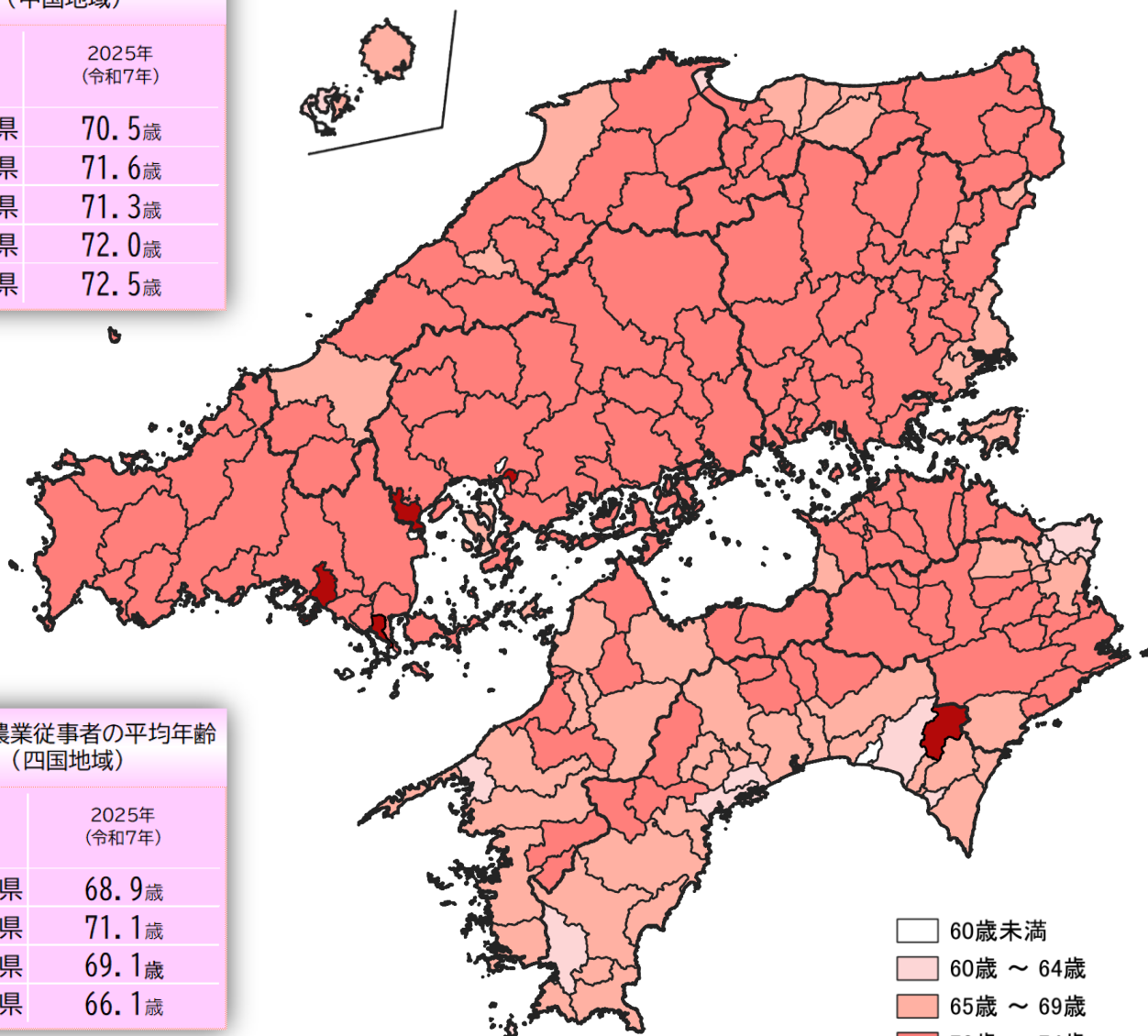
区 分	2025年 (令和7年)
全 国	67.7歳
中 国 四 国	70.3歳
うち中国	71.6歳
うち四国	68.8歳

基幹的農業従事者の平均年齢
(中国地域)

県	2025年 (令和7年)
鳥 取 県	70.5歳
島 根 県	71.6歳
岡 山 県	71.3歳
広 島 県	72.0歳
山 口 県	72.5歳

基幹的農業従事者の平均年齢
(四国地域)

県	2025年 (令和7年)
徳 島 県	68.9歳
香 川 県	71.1歳
愛 媛 県	69.1歳
高 知 県	66.1歳



1経営体当たりの経営耕地面積の動き

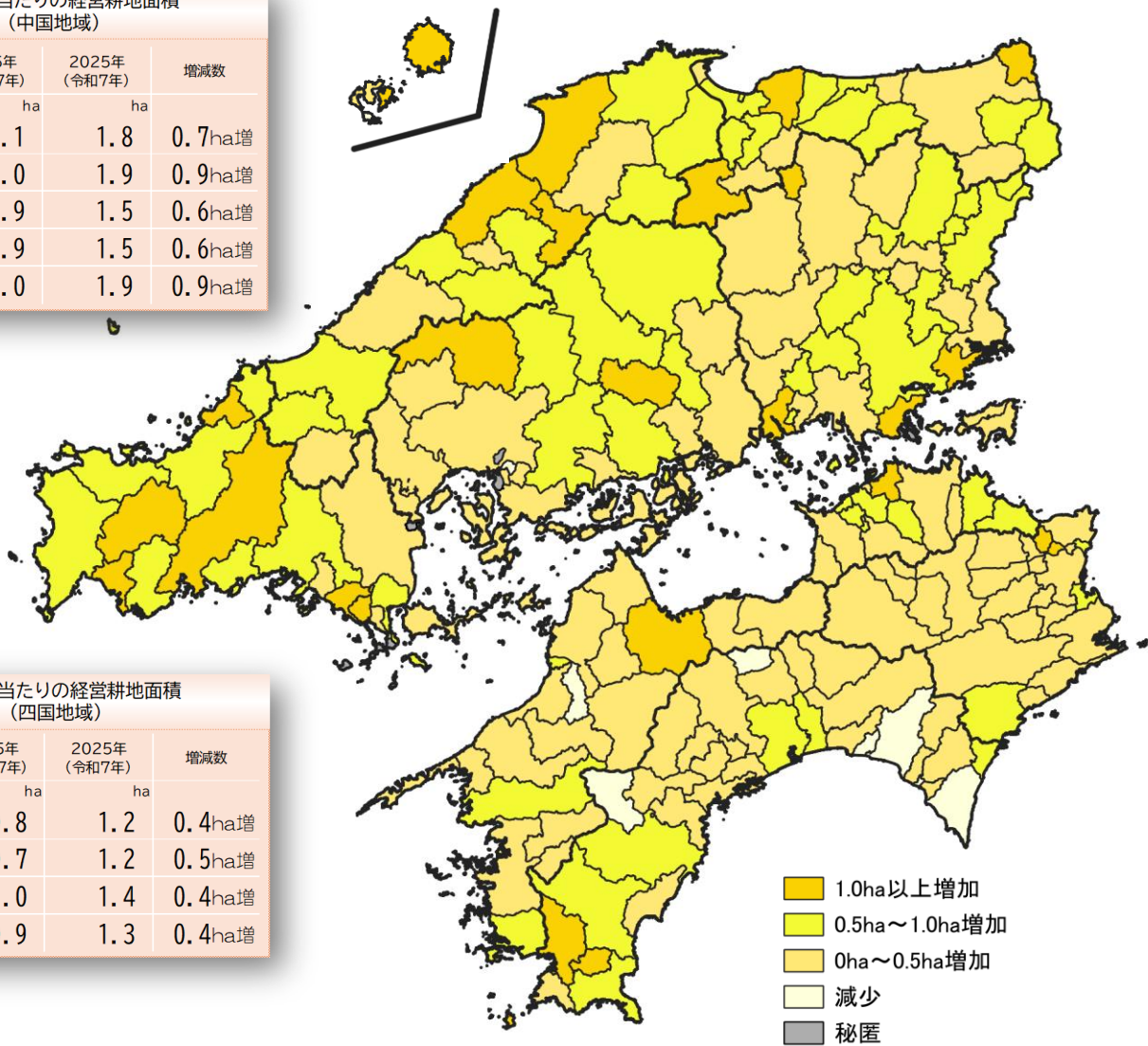
中国四国地域において、1経営体当たりの経営耕地面積を20年前と比較すると0.6ha増加しています。都府県（北海道除く）においては1.3ha増加しています。



1経営体当たりの経営耕地面積 (全国、都府県、中国四国)			
区 分	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減数
	ha	ha	
全 国	1.8	3.6	1.8ha増
都 府 県	1.3	2.6	1.3ha増
中国 四 国	0.9	1.5	0.6ha増
うち中国	1.0	1.7	0.7ha増
うち四国	0.9	1.3	0.4ha増

県別、市町村別の増減率(市町村別)

1経営体当たりの経営耕地面積 (中国地域)			
県	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減数
	ha	ha	
鳥 取 県	1.1	1.8	0.7ha増
島 根 県	1.0	1.9	0.9ha増
岡 山 県	0.9	1.5	0.6ha増
広 島 県	0.9	1.5	0.6ha増
山 口 県	1.0	1.9	0.9ha増



1経営体当たりの経営耕地面積 (四国地域)			
県	2005年 (平成17年)	2025年 (令和7年)	増減数
	ha	ha	
徳 島 県	0.8	1.2	0.4ha増
香 川 県	0.7	1.2	0.5ha増
愛 媛 県	1.0	1.4	0.4ha増
高 知 県	0.9	1.3	0.4ha増

資料：農林業センサス

注：2005年の1経営体当たりの経営耕地面積は、経営耕地面積を農業経営体数で除して算出した面積である。
：2025年の1経営体当たりの経営耕地面積は、経営耕地面積を経営耕地のある経営体数で除して算出した面積である。

中国地域の主な農畜産物

※ 各県の令和6年農業産出額上位10品目を掲載しています。
赤文字は全国10位以内の品目です。

米やみかんなど、それぞれの品目ごとに計算した「農業産出額」を表にしています。

《農業産出額とは？》

農家の人たちが育てた農産物（お米、野菜、果物など）や畜産物（牛、豚、卵など）の生産数量に、平均的な販売価格をかけて出した金額です。
（スーパー等で表示されている価格ではありません。）



島根県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	770	41
1 米	258	32
2 生乳	102	14
3 肉用牛	94	23
4 鶏卵	37	33
5 豚	35	33
6 ぶどう	29	12
7 トマト	15	37
8 ブロイラー	14	34
9 ほうれんそう	13	22
10 きゅうり	10	32

鳥取県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	865	36
1 米	206	36
2 ブロイラー	111	7
3 生乳	83	19
4 肉用牛	71	29
5 日本なし	55	3
6 豚	49	29
7 すいか	44	4
8 ねぎ	35	15
9 ブロッコリー	27	9
10 トマト	18	34

広島県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	1,540	24
1 米	377	24
2 鶏卵	289	6
3 豚	151	15
4 肉用牛	82	25
5 生乳	69	24
6 ねぎ	55	9
7 トマト	45	16
8 ぶどう	40	6
9 みかん	34	10
10 ブロイラー	24	25

岡山県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	1,887	21
1 米	481	19
2 鶏卵	335	3
3 ぶどう	210	3
4 生乳	145	9
5 ブロイラー	116	6
6 肉用牛	113	22
7 もも	58	4
8 豚	41	32
9 トマト	25	27
10 ひな(他都道府県販売)	16	11

山口県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	797	40
1 米	284	29
2 鶏卵	65	26
3 肉用牛	47	34
4 ブロイラー	45	18
5 豚	29	34
6 ねぎ	27	22
7 いちご	25	23
8 生乳	19	41
9 みかん	17	18
10 トマト	14	39

四国地域の主な農畜産物

※ 各県の令和6年農業産出額上位10品目を掲載しています。
赤文字は全国10位以内の品目です。

米やみかんなど、それぞれの品目ごとに計算した「農業産出額」を表にしています。

《農業産出額とは?》

農家の人たちが育てた農産物（お米、野菜、果物など）や畜産物（牛、豚、卵など）の生産数量に、平均的な販売価格をかけて出した金額です。
（スーパー等で表示されている価格ではありません。）



愛媛県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	1,337	26
1 みかん	222	3
2 米	215	35
3 豚	144	17
4 鶏卵	55	28
5 生乳	39	30
6 切り枝	35	2
7 さといも	31	3
8 いよかん	29	1
9 いちご	26	22
10 トマト	25	28

香川県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	994	34
1 鶏卵	179	16
2 米	162	39
3 ブロッコリー	68	2
4 肉用牛	67	31
5 生乳	54	25
6 ブロイラー	54	14
7 いちご	54	11
8 レタス	37	8
9 ひな (他都道府県販売)	29	5
10 みかん	27	14

徳島県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	1,092	33
1 米	162	40
2 にんじん	96	2
3 ブロイラー	93	10
4 肉用牛	76	27
5 かんしょ	73	5
6 ブロッコリー	48	5
7 豚	45	31
8 いちご	31	18
9 生乳	30	35
10 鶏卵	27	34

高知県

品目	産出額 (億円)	全国順位 (位)
計	1,226	32
1 米	162	38
2 なす	140	1
3 にら	110	1
4 しょうが	96	1
5 みょうが	96	1
6 きゅうり	75	6
7 ピーマン	59	4
8 プンタン	35	1
9 ししとう	32	1
10 トマト	28	23

中国地域の市町村別農業産出額

中国地域の農業産出額を市町村別でみると、産出額1位部門が米の市町村が多くなっています。米以外では、野菜、果樹、畜産物と、地域の特色が見られます。

※表は各県の農業産出額3位までの市町村です。



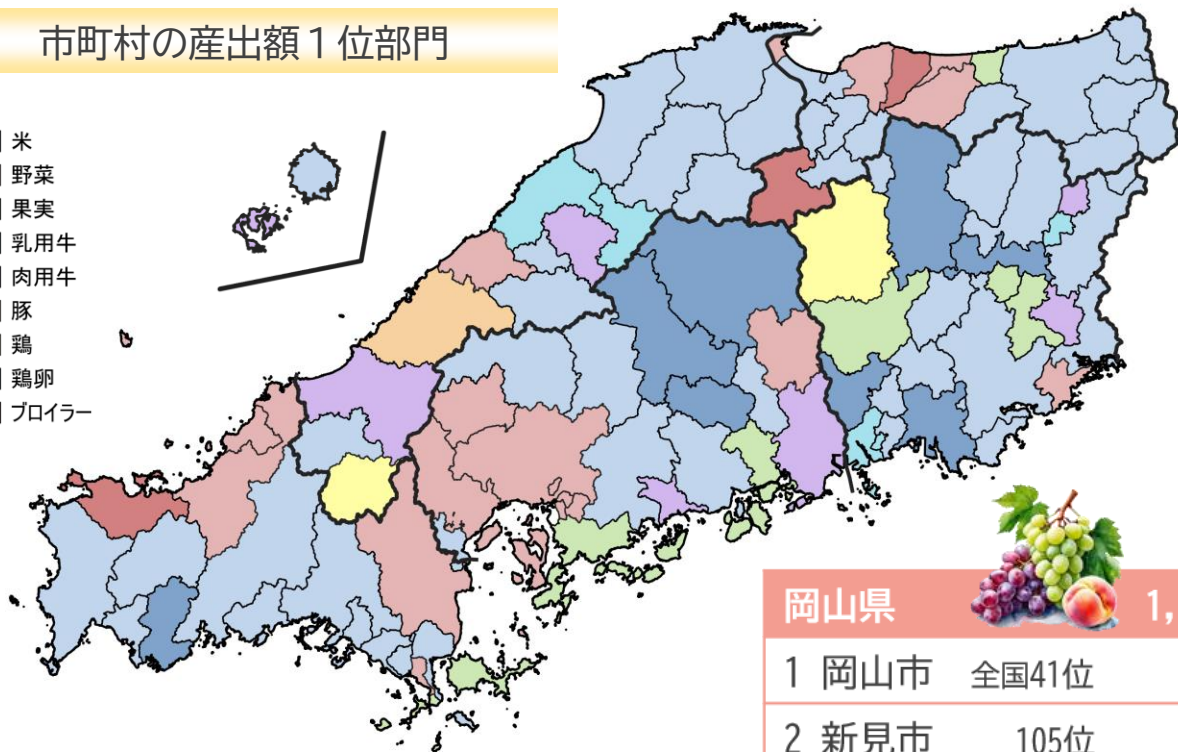
島根県	770億円
県内1位 出雲市 全国177位	158億円
2位 益田市 335位	102億円
3位 大田市 394位	86億円



鳥取県	865億円
1 琴浦町 全国144位	177億円
2 鳥取市 154位	171億円
3 北栄町 345位	98億円

市町村の産出額1位部門

- 米
- 野菜
- 果実
- 乳用牛
- 肉用牛
- 豚
- 鶏
- 鶏卵
- ブロイラー



岡山県	1,887億円
1 岡山市 全国41位	319億円
2 新見市 105位	210億円
3 真庭市 146位	176億円



山口県	797億円
1 山口市 全国156位	170億円
2 下関市 174位	161億円
3 萩市 413位	81億円



広島県	1,540億円
1 庄原市 全国78位	242億円
2 世羅町 81位	236億円
3 三次市 108位	205億円

四国地域の市町村別農業産出額

四国地域の農業産出額を市町村別でみると、産出額1位部門が野菜の市町村が最も多くなっています。愛媛県では果樹、高知県では野菜の産出額が最も多い市町村が多く、地域の特色が見られます。

※表は各県の農業産出額3位までの市町村です。



愛媛県

1,337億円

県内1位	西条市	全国162位	168億円
2位	西予市	183位	155億円
3位	松山市	196位	149億円



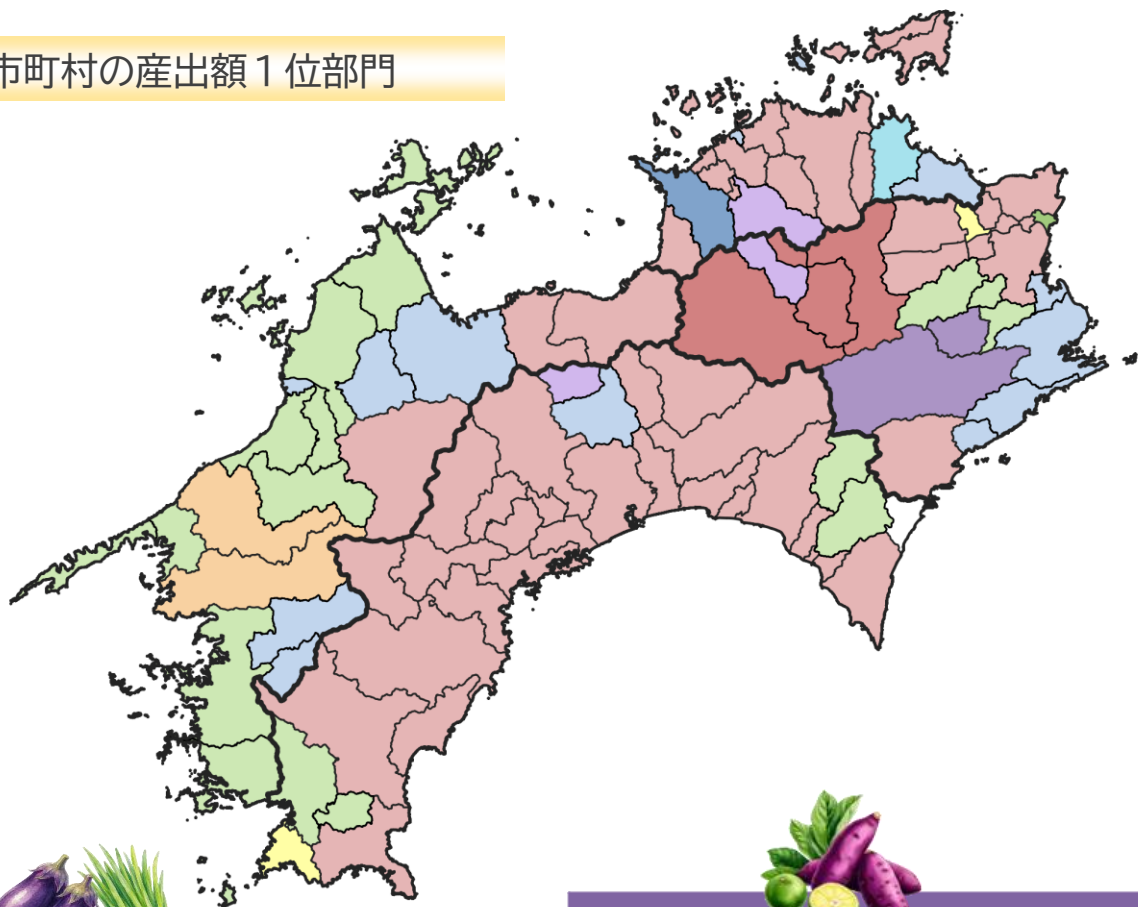
香川県

994億円

1	三豊市	全国44位	307億円
2	観音寺市	264位	120億円
3	高松市	352位	96億円

市町村の産出額1位部門

- 米
- 野菜
- 果実
- 乳用牛
- 肉用牛
- 豚
- 鶏
- 鶏卵
- ブロイラー
- いも類
- 花き



高知県

1,226億円

1	高知市	全国83位	235億円
2	四万十町	284位	114億円
3	香南市	342位	100億円



徳島県

1,092億円

1	阿波市	全国103位	210億円
2	鳴門市	238位	129億円
3	徳島市	286位	113億円

中国四国の食卓をのぞいてみよう①

— 支出金額全国上位の農林水産物はこれだ！！ —

鳥取県

支出金額
全国1位

全国平均の

約4倍！

梨の花は鳥取県の県花



👉 日本なしの鳥取県の
令和6年農業産出額は55
億円で全国第3位。

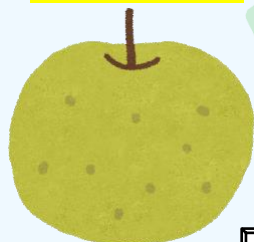


1位 いわし
979円



1位 かれい
2,381円

👉 日本海では、いわしやかれいが比較的手に入りやすい。
👉 かにには鳥取県の特産品。魚の保存・加工文化が根付いて
いるため、ちくわなどの魚介加工品の消費も日常的に多い。



1位 梨
6,856円



2位 かに
4,316円



1位 ちくわ
4,125円

鳥取市民の
ソウルフードは
とうふちくわ



2位 キャベツ
4,103円



3位 卵
16,447円



1位 もやし
1,549円

島根県

支出金額
全国1位

全国平均の
約8.7倍！

宍道湖産
ヤマトシジミは
GI登録産品



2位 いか
3,283円



1位 キャベツ
4,185円



1位 はくさい
2,121円



1位 しじみ
2,867円

👉 しじみは、宍道湖が日本一の産地。
令和6年の漁獲量は 4,674トン。
しじみ汁などが日常の食事として広く根付
いており、家庭での購入頻度が高い。

2位 切り花
10,531円



👉 切り花の支出金額が多いのは、先祖の
お墓や仏壇だけでなく、親類縁者のお墓
にも花を供える習慣がある。また、茶の湯
文化が深く浸透しており、日常的に季節の
花を飾る習慣が息づいている。



2位 かれい
1,710円



2位 生しいたけ
2,563円



1位 バナナ
7,995円

総務省「家計調査」(2025年)

都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額(2人以上の世帯)鳥取市、松江市の調査結果

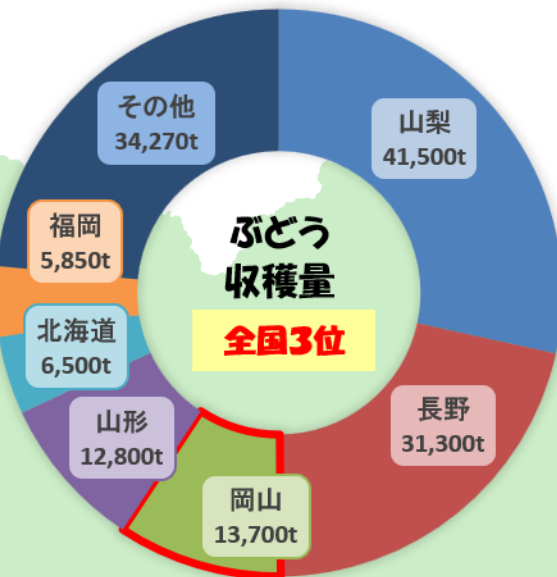
中国四国の食卓をのぞいてみよう②

— 支出金額全国上位の農林水産物はこれだ！！ —

岡山県

支出金額全国3位

ぶどう
5,092円



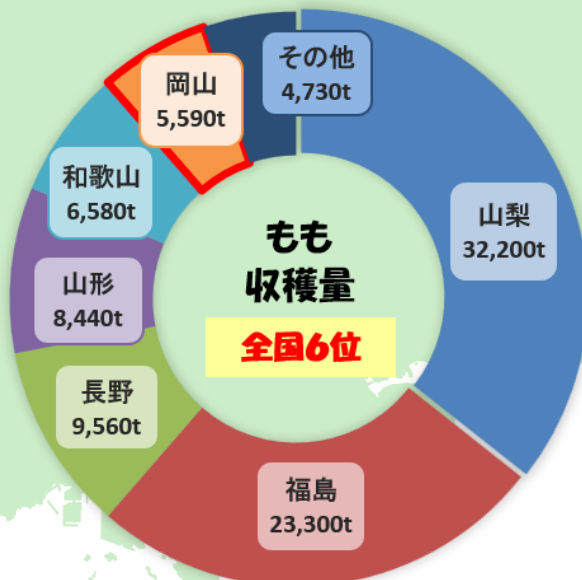
マスカット・オブ・アレキサンドリアは、岡山県以外では、ほとんど作られていません



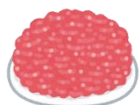
🍑 桃やぶどうは県内の代表的な果実であり、身近な存在として家庭の中で日常的に消費されやすい。こうした入手しやすいさや食べやすさを背景に、家庭内での消費が積み重なった結果が支出金額の多さに表れている。

支出金額全国4位

もも
2,646円



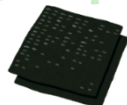
全国平均の約2倍！
岡山の清水白桃は贈答用の高級ももとして人気



2位 合いびき肉
5,803円



3位 鶏肉
23,943円



2位 干しのり
4,602円



2位 牡蠣
1,247円



4位 えび
3,708円

中国四国の食卓をのぞいてみよう③

— 支出金額全国上位の農林水産物はこれだ！！ —

広島県



1位 牡蠣
1,485円

支出金額全国1位

👉 牡蠣の生産量が全国の6割以上を占める日本一の産地。牡蠣鍋など、冬に鍋料理を食べる機会が多く、はくさいはその主要な食材としてよく使われる。

全国平均の
約2倍！

牡蠣は料理方法が多いが、その中でも冬は鍋が人気



3位 はくさい
2,112円



7位 たこ
1,240円



8位 えび
3,469円

8位 牛肉
29,652円

4位 豚肉
38,408円

7位 鶏肉
23,225円

8位 合いびき肉
5,211円

山口県

支出金額全国2位



2位 ごぼう
1,308円

全国平均の
約1.2倍！

美東ごぼう、
長州黒かしわは、
GI登録産品



2位 しめじ
2,531円



2位 鶏肉
24,708円

3位 あじ
2,297円



3位 さば
1,343円



4位 たい
2,239円



👉 山口市発祥の鶏肉とごぼうを揚げて甘辛いしょうゆだれでからめた料理「チキンチキンごぼう」がある。

学校給食をきっかけに広まり、家庭料理や惣菜、飲食店メニューとしても親しまれている。

子どもの頃から慣れ親しんだ味が家庭にも定着したことで、鶏肉やごぼうを購入する機会が多くなり、支出金額の高さにつながっている。



総務省「家計調査」(2025年)

都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額(2人以上の世帯)広島市、山口市の調査結果

中国四国の食卓をのぞいてみよう④

— 支出金額全国上位の農林水産物はこれだ！！ —

徳島県

支出金額
全国1位

1位 さつまいも
2,746円

全国平均の
約2倍！
鳴門金時が有名な徳島
は、芋が身近だから
よく食べる



4位 その他の柑きつ類
3,072円



収穫量
すだち 全国1位
ゆず 全国2位
(令和5年徳島県)

👉すだちは刺身や唐揚げに添えられるだけでなく、味噌汁に搾って用いられるなど、家庭の食卓に深く根付いている。

3位 干しのり
4,415円



徳島といえば
竹ちくわと
味付け海苔が有名

2位 干しいたけ
602円



👉温暖な気候や森林資源といった地域特性を背景に、さつまいもやしいたけの生産が盛ん。

2位 ちくわ
3,274円



4位 かつお節・
削り節
1,230円



香川県

支出金額全国1位

1位 日本そば・うどん
(外食)
17,962円



1位 生うどん・そば
6,450円



1位 はくさい
2,121円



4位 合いびき肉
5,472円



4位 しめじ
2,323円



4位 揚げかまぼこ
3,735円



2位 乾うどん・そば
3,896円



全国平均の
約2倍！
2011年(H23)
10月からうどん県と
してプロモーション
開始



👉経済センサスでは、人口1万人当たり「そば・うどん店」事業所数が全国1位。

中国四国の食卓をのぞいてみよう⑤

— 支出金額全国上位の農林水産物はこれだ！！ —

愛媛県

支出金額
全国1位

1位 他柑きつ類
温州みかん、
グレープフルーツ、
オレンジを除く
柑きつ類
4,368円

愛媛果試第28号
(紅まどんな®)

(南香×天草)

皮が薄く、とろけるような食感
が特徴。カットフルーツに最適。
平成17年3月に品種登録。



全国平均の
約2倍！
柑橘といえば愛媛！
かんきつ王国



愛媛果試第48号
(紅プリンセス®)
(愛媛果試28号×甘平)
とろけるような食感の
紅まどんなと、濃厚な
紅かんぺいを両親に持つ品種。
令和4年6月に品種登録。



甘平

(紅かんぺい®)

(西之香×ポンカン)

シャキッとした独特の食感と
濃厚な食味が特徴。

品質規準を満たした最高級品を

愛媛Queenブラッシュ®として販売。

平成19年8月に品種登録



温州みかんは

・親戚、知人からもらう機会が多い
・全国でも上位にランキングされる
JA直売所で安く手に入れられるこ
とから支出金額は低め。

👉 温州みかんだけではなく、紅まどんな、紅かんぺい、
紅プリンセス、いよかん、ポンカン、せとか、はるか、
清見、河内晩柑などの中晩柑類も豊富に生産。

※紅まどんな®は全国農業協同組合連合会の登録商標です。

※紅プリンセス®は愛媛県の登録商標です。 ※愛媛Queenブラッシュ®と紅かんぺい®は愛媛県の登録商標です。

38位 みかん
3,796円

高知県

支出金額全国1位

1位 かつお
7,509円



2位 かつお節・削り節
1,490円



2位 卵
16,538円

高知県のゆずは
収穫量日本一



2位 その他の柑きつ類
3,364円

👉 かつおやかつお節、削り節の支出が多いのは、かつおの水揚げが多く、
かつおを使った出汁文化が日常の食生活に深く根付いている。

全国平均の

約4.5倍！

一本釣りで傷まず
鮮度が高いため、
美味しい



土佐を代表するかつお料理・伝統食品



かつおのたたき



酒盗

(かつおの内臓の塩辛)

👉 高知県のゆずは、安芸市、
北川村、香美市、馬路村などを
中心に生産されている。
特に香美市では、「物部ゆず」
がGI登録産品として知られる。

総務省「家計調査」(2025年)

都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額(2人以上の世帯) 松山市、高知市の調査結果